

## 物部川地域アクションプランの進捗状況等について

H 24.9.4  
物部川地域本部

## 1 地域アクションプランの第1四半期の実施状況（総括）

## (1) 総評

- ・全 23 項目について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を行なっている。
- ・必要な情報共有や積極的な事業進捗に向けた協議など、支援チーム員と関係者が連携して取り組んでおり、全項目において概ね計画どおり進行している。

## (2) 具体的な動き

## ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>園芸主幹品目の再構築及び強化</b></p> <p>■No.1 南国市の園芸主幹品目シントウの再構築（南国市）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域APチーム会（営農改善会）等を開催し、今年度の取り組みの方向性を共有した（省エネ技術の導入によるコスト削減、腐敗果防止の推進、天敵利用の推進等）。</li> <li>・省エネ加温技術研修（参加農家 20 名）、省エネ機器導入事業説明会（同 10 名）、天敵利用技術先進調査（同 5 名）を実施した。</li> <li>・土着天敵使用について実証ほを設置し調査するとともに先進地視察研修を行った。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>省エネ技術導入に向けた取り組み</p> <p>⇒補助事業の活用による導入促進や、既存ボイラーを活用した改良型省エネ技術の効果を検討する。</p> <p>土着天敵の導入</p> <p>⇒低コストで防除効果があったが、作物への被害と密度の係が不明確で、今後も調査が必要である。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 エメラルドメロンの販売力向上対策 (香南市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナー量販店と市場担当者を招へいし、情報交換を行った。</li> <li>・MB代替薬剤の試験ほを設置(1ヵ所)した。</li> <li>・大玉果軽減のため高温期草勢の目慣らし、温度・灌水管理の徹底を現地検討会で指導した。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>消費者の認知度向上</p> <p>⇒カット販売を行うなどの、消費者が購入しやすい商品形態について役員会で検討する。</p> <p>MB剤全廃(2013年)後の代替技術の確立</p> <p>⇒代替薬剤としてのヨーカヒュームの有効性を検証していく。</p>
<p>■No.3 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市・香美市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏ニラ産地物部町の育苗についてニラ部会の大規模農家に委託斡旋を行い、物部町ニラ栽培者(2戸、15a分)の苗の受け渡しを行うことができた。</li> <li>・防虫ネット+タイバックシート被覆によるアザミウマ防除の実証ほを設置(1ヵ所)し、調査中である。</li> <li>・鮮度保持対策の目慣らし会を実施した(11回)。</li> <li>・異物混入対策の品目別チェックリストによる点検を実施した(点検農家戸110戸)。</li> <li>・大阪市場卸売会社、岡山丸果、名古屋青果との出荷、販売について情報交換を行った。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>周年安定生産、出荷量の拡大</p> <p>⇒育苗に関する作業受委託について、担当者会等で検討していく。高温対策技術の実証ほを設置し、7月から調査を行っている。</p> <p>異物混入や高温期における腐敗事故の防止</p> <p>⇒鮮度保持対策や異物混入対策として巡回指導時に調整作業場の点検も指導する。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>ユズの総合的な産地強化</b></p> <p>■No. 11 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策（香美市）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ産地協議会を開催し（3回、参加者39名）、小袋を利用した新たな販路の開拓についての検討や、販売戦略を立てるための樹齢や改植等に関する生産者アンケートを実施している。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>「ゆずもり」の再構築</p> <p>⇒ユズ産地協議会で、作業料金や組織構成等の見直しを行っていく。</p> <p>新たな販路の拡大</p> <p>⇒ユズ産地協議会で、生産量の変動にも対応可能な販売戦略を検討していく。</p>
<p><b>地産地消・食育の推進</b></p> <p>■No. 4 地産地消・食育の推進（南国市）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食用食材配送システムは、道の駅南国から今年度発足した「株式会社南国スタイル」（JA南国市出資農業生産法人）に継承されたが、市、市教委、南国スタイルの調整が不十分だったため、業務のスタートが6月になった。</li> <li>・農家レストランまほろば畑については、高い集客力を維持している（4/3～7/31の来店者数 平均181人）。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>学校給食用食材配送業務に関する調整が不十分</p> <p>⇒今後は関係機関と調整しながら、地産地消の推進に向けて取り組んでいく。</p> <p>農家レストランの集客維持に向けた努力の継続</p> <p>⇒新しい統一メニューを作成するなど、運営を担当する5グループが協力しながら、農家レストランの魅力の磨きあげを行なっていく。また、専門家の指導を受けて、厨房作業の改善点を洗い出し、業務改善に向けた取り組みを実践していく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大（南国市）</p> <p>■No.6 地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充（南国市）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度以降に産振補助金を活用して事業を実施する予定であり、県、市、JA長岡による打ち合わせ会を開催して関係者間の意思統一を図った。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>事業計画の十分な精査</p> <p>⇒打ち合わせ会を重ねるなどして、事業計画を精査していく。</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に産振補助金を活用して事業を実施することとしており、県、市、JA十市による打ち合わせを重ね、事業採択申請書を提出し、7/23に補助金審査会の審査を受けた。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>採択後に向けた支援</p> <p>⇒補助金審査会の審査を受けて、所用の準備を行う。</p>
<p><b>豊富な地域資源を活用した1.5次産業化の推進</b></p> <p>■No.7 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～（南国市）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに特産品が開発され、販売が開始された。</li> <li>・南国市において、地域特産品商品開発事業を行うための補助金交付要綱の改定作業等、特産品づくり誘導支援策の実施準備を行った。</li> <li>・7月に市の補助金交付要綱が制定（3/4補助、上限30万円）され、特産品づくりのプレーヤーとして期待される事業者等へ周知、勧誘を行っている。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>特産品づくりのプレーヤーの育成</p> <p>⇒今後、支援チームの結成等、特産品づくりのプレーヤーを育てる体制を構築し、育成を進めていく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 8 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組(南国市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャモ肉取り扱い飲食店を新規開拓して、シャモ鍋社中(南国市内の取扱店)2店舗、南国市外4店舗、卸業者1社が新たに加わり、取引先は合計22となった。</li> <li>・シャモ鍋以外の、季節を問わないメニュー(シャモとジローの親子丼)を開発し、土佐の食1グランプリに出店して3位に入賞した。PR効果によるシャモ料理の知名度が向上し、取引先も7件増となり、4月から7月末の間に前年同期比で195%となる640kgのシャモ肉を売り上げた。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>シャモの安定的な生育体制の整備 ⇒関係機関と協議調整中</p>
<p>■No. 12 香美市ブランドの確立・特産品づくり(香美市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐の食1グランプリにシカドッグで出店し、4位に入賞するとともに800個を売り上げた。</li> <li>・ゆず加工品の開発等を行なっている「奥ものべ・じじばばあんぜん会」と、ステップアップ補助金活用に向けての打ち合わせを行った。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>香美市観光協会の円滑な活動の支援 ⇒今年度から行政から独立し、法人化した一般社団法人香美市観光協会が香美市ブランドの確立に向けて業務を遂行できるよう、連携及び調整を図り、必要な支援を行う。</p>
<p>■No. 15 シイラ等の加工商材活用(香南市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存取引先と定期的に情報交換を行い(2回/週)、販売先を確保している。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>新たな販売先の開拓 ⇒既存取引先との情報交換や新規開拓により、新たな販売先の確保を行っていく。</p> <p>衛生管理の維持 ⇒自主マニュアルに基づき点検等を行っていく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>地域に育つ県産材の有効活用</b></p> <p>■No. 13 民有林における素材の増産(物部川地域全域)</p> <p>■No. 14 木質バイオマスの活用に向けての取組(物部川地域全域)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市「舞川・撫川地区森の工場」(平成24年度計画予定地)の地元説明会を開催(森林所有者25名参加)し、作業道開設、間伐の実施に向けて、境界確認調査(土地所有者の立会確認)に着手した。</li> <li>・香美市猪野々地区(平成21年度森の工場設定済)で森林経営計画制度及び森林管理・環境保全直接支払制度について地元説明会を開催(地元代表者11名参加)し、今年度の事業実施に向けて実施計画の策定作業を行っている。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>森林経営計画における事業量と認定事業者の作業実行能力の整合</p> <p>⇒既存の森の工場から、試行的に1団地を抽出して計画を作成し、労働力の確保や機械装備など課題を洗い出したうえで、順次他の団地の計画に着手していく。</p> <p>昨今の木材価格低迷による、各事業者の素材増産意欲の低下</p> <p>⇒素材生産に関する今後の対応策について検討していく。</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペレット利用量、チップ利用量、CO2削減量の検証を行った。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>重油価格や天候に伴うペレット等利用量の変動</p> <p>⇒ペレット等利用量やCO2削減量について継続して検証していく。</p>
<p><b>歴史と伝統ある地場産業の振興</b></p> <p>■No. 19 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興(香美市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会通販サイトでの土佐打刃物製品の商品構成の充実を図るべく、土佐打刃物業者に声掛けを開始した。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>土佐打刃物後継者育成</p> <p>⇒土佐打刃物後継者育成対応策検討会において、関係機関が引き続き協議を行なっていく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p><b>体験型観光商品の充実及び広域観光の取組の推進</b></p> <p>■No. 20 観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～(南国市)</p> <p>■No. 21 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信(香南市)</p> <p>■No. 22 「森の駅」を中心とした体験型観光の推進(香美市)</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から南国市観光協会として行政から独立し、専任スタッフが配置され、企画力、機動力の向上が図られている。岡豊山さくらまつり(土佐の食1グランプリ)や長宗我部フェスの開催等、概ね計画どおり進捗している。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>南国市観光協会の会員増の取組</p> <p>⇒南国市が観光に向けて力を結集するために、観光協会の会員増に向けて、入会のメリット等も検討し、取り組んでいく。</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐塩の道 30km ウォークの企画・募集を行い 60 名の参加があった。</li> <li>・土佐塩の道でのトレイルランの試走を企画し、7 名が参加した。</li> <li>・「香南市地旅ガイド」や観光パンフレット等を配布し、体験観光や絵金生誕 200 周年記念行事など香南市の観光 PR を行った。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>トレイルラン大会の企画</p> <p>⇒試走参加者のコースに対する評価が概ね好評であったことから、地域と連携した運営方法等について検討していく。</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人香美市観光協会が中心となり、募集ツアーを定期的で開催し集客数を増やすとともに、指定管理者となったべふ峡温泉で体験プログラムの商品化を行うなど、香美市の観光の推進に貢献している。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>べふ峡温泉が企画する登山体験ガイドの養成</p> <p>⇒べふ峡温泉従業員や観光協会職員を OJT でガイドとして養成していく。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物部川地域観光振興協議会を開催(3回)し、本年度事業及び予算を決定、高知県観光拠点等整備事業費補助金の交付申請書の作成等を行った。</li> <li>・とさ旅セミナー準備会及びエリアキャンペーン実行委員会に出席し、エリアキャンペーンの企画を行っている。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>プロモーションツールの作成と活用 ⇒エージェントを対象として、体験観光等パンフレットを作成し、誘致活動を行っていく。</p>

②上記以外で特記すべき取組  
特になし

2 平成24年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)  
単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目  
該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・JA土佐香美総会で第2期産業振興計画について説明(4/23)
- ・南国市・香南市の広報紙6月号に土佐の産業おこし参加プラン募集記事掲載
- ・南国(5/18)・香南(5/29)・香美(5/23)の各市商工会総会で土佐の産業おこし参加プラン、産業振興計画シンポジウム、土佐MBAのPR

5 相談案件：1件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	6/6	食品加工	南国市内で菓子製造の事業規模を拡大したい。